

社会課題解決のためのご支援のお願い



【お問い合わせ】

〒805-0015 福岡県北九州市八幡東区荒生田 2-1-32

認定 NPO 法人抱樸

☎093-653-0779 ettou@f8.dion.ne.jp

<http://www.houboku.net/>

抱樸は認定 NPO 法人です。寄付は税制優遇の対象となります。

CSR(社会貢献活動)ご担当者様へ

抱樸の活動にご理解いただき、まことにありがとうございます。

ホームレス・生活困窮者の自立支援をはじめ、社会で様々な困難を抱える方々のサポートを行うことで社会課題の解決を目指しています。解決したい課題は「経済的困窮」と「社会的孤立」の解消です。皆さまとこの課題の解決に取り組んでまいりたいと考えています。これからもぜひご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

ひとりの路上死も出さない

ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を

ホームレスを生まない社会を創造する

■私たちの目指すこと

「どんなことがあっても孤立せず、自分らしく生きることができる暮らしをサポートする」

NPO 法人 抱樸の活動は、1988 年 12 月にはじまりました。当初、「一日も早い解散を」と考え活動をしてきましたが、今日の日本は貧困と格差が常態化し、雇用環境、居住環境の不安定化は深刻です。ホームレス数は、ホームレス自立支援法が施行されて以来過去最低となっていますが、不安定な状態で暮らす人々が増加しているという事態です。10 年前のリーマンショックの時は、有効求人倍率が 0.4 程度に留まっていた。つまり、3 人のうち 2 人は座れないという状況です。そして、立っている人をつかまえて、「努力が足りない。自己責任だ」と周囲は言ったわけです。あれから 10 年を経て、現在は有効求人倍率が 1.5 倍を超えている状態です。しかし、喜んではいけない。その数を稼いでいるのは非正規雇用であって、座れたイスが 2, 3 年で壊れるという事になっています。

一旦失業状態から脱しても数年後にまた危機が訪れることを想定しなければならない時代となりました。

支援において何よりも大切で、何よりも優先されなければならないことは「自分のことを心配してくれる人の存在」です。困窮者支援の現場では「人の存在」が何よりも大事です。入居支援も就労支援もその上に成立します。私たちは、困窮の内実を「経済的貧困(ハウスレス)」と「社会的孤立(ホームレス)」という両面において捉えてきました。「畳の上で死にたい」と仰っていた野宿状態の方がアパートに入られます。「これで安心」と思うのですが、「俺の最期は誰が看取ってくれるだろうか」と仰います。そこには、「誰が」という「人の問題」がありました。自立が孤立に終わってはなりません。私たちの活動は「ホームレス支援」と言われますが、「ホームレス」という人はいません。すべて名前のある個人です。私たちは、「人を属性で見ない、あるいは、人を制度に当てはめて支援しない」ことを大事にしてきました。



NPO 法人 抱樸は、これからも困窮と孤立に苦しむ人々と共に生き、共に新しい社会を創造したいと思います。

抱樸の活動を応援する

抱樸は「経済的困窮」と「社会的孤立」の解消のために活動を続けています。

ホームレス・生活困窮者の自立支援、貧困の世代間連鎖の防止、安心できる住まいと暮らしの提供、地域互助活動の創出など多岐にわたる事業を実施し課題の解消に取り組んでいます。新しい事業を生み出し進めていくには、運営資金の確保が必要です。

制度により多くの方が救われています。あわせて、その制度のはざままで誰かの助けを求めている方へ差し伸べる手が社会には必要です。制度を活かし、制度が無いところに柔軟に対応する。そのための安定した支えを必要としています。社会の課題に対して速やかに対応することができる強みを活かしてこれからも支援活動に取り組んでまいります。マンスリーサポーター、賛助会員として私たちの活動をぜひお支えください。

抱樸の取り組み

- 相談支援(炊き出し、巡回相談、自立相談支援)
- 自立支援(ホームレス自立支援センター、自立支援住宅)
- 生活支援(サポートセンター、家計相談)
- 就労支援(就労準備支援、認定就労訓練事業所、技能講習)
- 居住支援(借上げ型支援付地域居住、生活支援付共同居住、保証人バンク)
- 高齢者支援(デイサービスセンター)
- 障がい者支援(就労継続支援、生活訓練)
- 刑余者支援(地域生活定着支援センター、入り口支援)
- 地域づくり(互助会、ボランティア活動)

代表 奥田知志 について

奥田知志(おくだ ともし)



1963年滋賀県大津市生まれ。1982年に関西学院大学入学、同大学大学院修士課程卒業、西南学院大学神学部専攻科卒業、九州大学大学院博士課程単位取得退学。

1990年日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会の牧師就任、北九州越冬実行委員会に参加し路上生活者の支援を行う。2000年NPO法人北九州ホームレス支援機構(現抱樸)を設立し理事長に就任。現在、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事等を歴任。

毎日社会福祉顕彰、糸賀一雄記念賞等を受賞。著書『もう、ひとりにさせない』(いのちのことば社)ほか多数。

子どもとその家族を支えます

日本における子どもの貧困率は約14%。8人にひとりがそのような状態にあると言われています。

抱樸のこれまでのホームレス・生活困窮者の支援においても、学力、療育の課題が原因と思われる方を多数見てきました。「もっと早くに『助けてくれる誰か』と出会っていればこの方の人生は変わっていたかもしれない」。そのような思いから子どもの学習支援とその家族が抱える問題に同時に取り組む事業を立ち上げました。たくさん子どもたちが私たちのところにおとずれ、輝く笑顔を見せてくれています。



制度になっていないこの事業を続けるためには資金面の課題を解消することが必要です。子どもたちの未来を助けるため「もうひとりの家族」になってください。



抱樸を応援する！！

1. 法人賛助会員

NPO 法人抱樸は法人賛助会員を募集しています。1口 10,000 円/年で年間 5 万円以上をご支援いただければ幸いです。賛助会員としてお申し込みをいただきましたら、毎年「ご支援のお願い・会費納入のお知らせ」をお届けさせていただきます。ご通知を受け取りましたらお振込みをお願いいたします。

ご希望の法人賛助会員様は活動報告誌にお名前を掲載させていただきます(年 1-2 回発行、全国約 2,000 件の団体・個人向け)。

2. 継続寄付「マンスリーサポーター」

「マンスリーサポーター」を募集しています。毎月定額の支援が手続き不要で行えます(はじめにクレジットカードのご登録が必要です)。

「100 円」「500 円」「1,000 円」「3,000 円」「5,000 円」の 5 種類を準備していますので、ぜひご登録ください。

※領収書は 1 月から 12 月分をまとめて 1 月に発行いたします。別途ご希望がございましたらご連絡ください。

なお、ゆうちょ銀行振替口座へのご寄付も可能です。※郵便局の払込書をご利用ください。払い込みには所定の手数料が必要となります。

振替口座番号 01780-8-64142 「特定非営利活動法人抱樸」

3. その他の支援

商品券や図書カードなどの金券も受け付けています。活動資金として大切にに使わせていただきます。金券をご寄付いただいた場合も認定 NPO 法人の領収書を発行させていただきます。

NPO 法人抱樸 について

名 称: 特定非営利活動法人抱樸(ほうぼく)

結 成: 活動開始 1988 年 12 月 法人設立 2000 年 11 月

許可等: 認定 NPO 法人(北九州市認定) 2013 年 11 月 26 日 ※2004 年から 2013 年までは国税庁認定。

活 動: 北九州市, 福岡市, 下関市, 中間市等を中心に約 2,800 人の支援を実施。ホームレス・生活困窮者の相談事業, 自立支援, 若者就労支援, 子ども支援, 高齢者支援, 障がい者支援を行っている。

受賞歴: 2009 年 ふくおか社会貢献活動表彰(福岡県)

2016 年 第 14 回読売福祉文化賞(読売光と愛の事業団)

2017 年 第 1 回賀川豊彦賞(公益財団法人賀川事業団雲柱社)

お問い合わせ・ご連絡先

〒805-0015 福岡県北九州市八幡東区荒生田 2-1-32

認定 NPO 法人抱樸

☎093-653-0779

ettou@f8.dion.ne.jp

<http://www.houboku.net/>

抱樸は認定 NPO 法人です。寄付は税制優遇の対象となります。

法人の方は、通常の寄付とは別に損金算入限度額が計算されます。

認定番号

13-92

認定年月日

平成 25 年 11 月 26 日